

## 国民健康保険税の引き下げについて



井上 芳弘 議員  
(日本共産党)

**問** 平成 27 年度に高額な新薬のため調剤費が高い状況になり、平成 28 年度には保険税が 8 パーセント引き上げられた。実際は国の手立てもあり、調剤費は落ち着いたが保険税の引き上げだけが残った。補正予算での 3 億数千円分の基金積み立てというのは最近なかったこと。積み立てるのではなく、引き下げの手立てをとることが逆に制度の信頼につながるのでは。

**答** 平成 29 年度の単年度決算で見ると 2 千数百万の黒字という状況で、仮に 8 パーセントの引き上げがなければ単年度で赤字であったと考えられます。平成 30 年度の全県化に際しての 1 億 2,000 万円近い激変緩和の財源が見直された場合、今回一定活用することによって引き下げたとしても、また大きな引き上げの可能性が高いと考えます。今回の積み立てを将来において平準化を維持していく方向で活用したいと考えます。

**問** 国保制度における子供たちへの均等割について市長会等で国に対し申し入れをされていると思うが。

**答** 社会保険では被扶養者数に応じて保険料が加算されることはありません。国民健康保険

では、被保険者数に応じて国保税の均等割額が加算され、幼児や児童、生まれたばかりの赤ちゃんにもかかってきますので、子どもの数が多いと保険税が高くなる制度になっています。この部分について子育て支援、少子化対策の観点や、他の医療制度との公平性を保つため、国の負担による免除や軽減を全国市長会等からも要望しています。

**要望** 国への要望をすると同時に、18 歳以下の子供に対して均等割を 2 分の 1 に軽減している自治体もある。厳しい財政の中ではあるが、ぜひお願いしたい。

### ■その他の質問項目

- ・ 高齢者への生活支援について
- ・ 道路整備について
- ・ 教育課題について

## 児童、生徒の安全について



織部 徹 議員  
(21 国会)

**問** ことしは非常に暑い夏であったが、加西市では耐震化工事に合わせ、教室にエアコンが設置されており、この暑い時期も乗り切れたと思う。エアコンは児童、生徒の体調管理のため使用されると考える。文部科学省の指示は 30 度にできればエアコンを使用し、28 度に設定とのことだが、実際の温度管理はどうか。

**答** 最近の児童は、クーラーに接する時間が非常に長いという状況の変化もあります。学校環境衛生管理マニュアルでは夏期

は 25 度から 28 度位が適温とされています。エアコンの管理は教室の担任が行っており、児童、生徒の健康状態を見ながら柔軟に温度管理しています。

**問** 保健室は体調を崩した児童、生徒が利用しているが、25 度から 28 度位の範囲で温度設定されているのか。

**答** 児童、生徒の健康状態を見ながら、臨機応変に温度設定をしています。

**問** 普通教室はエアコンが設置されているが、体育館を含め特別教室等はエアコンが設置されているのか。

**答** 平成 26 年度に特別教室も含め、すべての教室にエアコンが設置されています。唯一設置されていないのが体育館、武道館です。

**問** 全校集会や儀式、行事等は体育館を使用することが多い。エアコンの設置は必要と思うがいかがか。

**答** 体育館へのエアコン設置は、多額の費用を必要とします。大型の扇風機等を使うなど工夫しながら体育館を使用しています。

**要望** 災害時の地域の第一避難所として小学校は指定されている。その場合、体育館の使用が多いと思うが、季節により暖房や冷房を必要とするときがあると思う。避難所を開設しても、ことしのような暑さの中では、体育館では過ごせない。国の補助金等の動向も見ながら体育館へのエアコン設置を考えていただきたい。

### ■その他の質問項目

- ・ 学校給食について